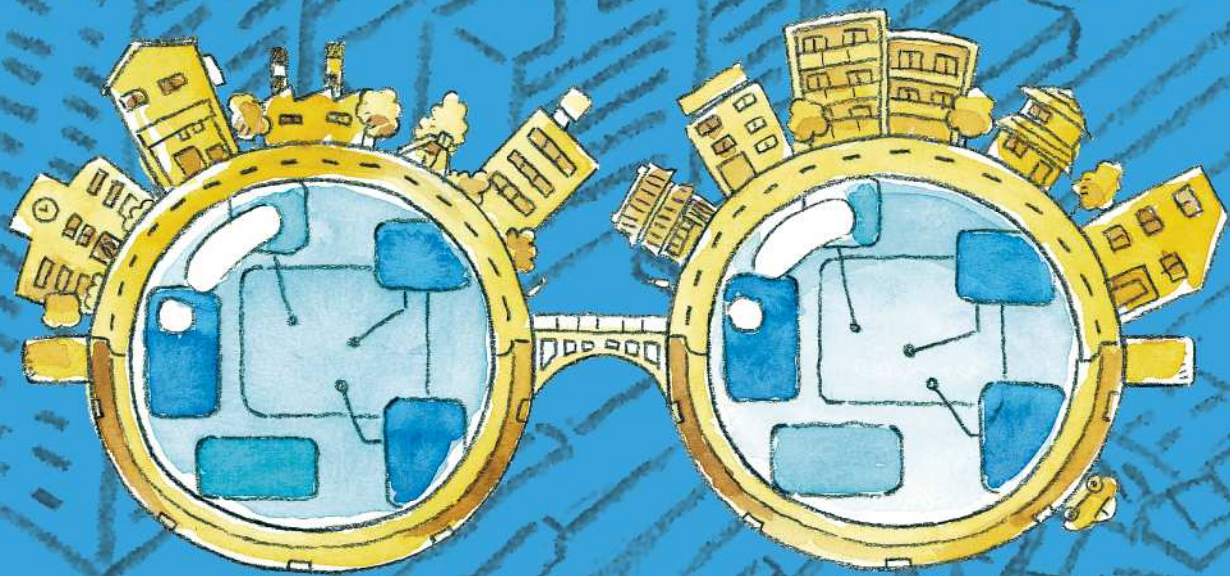


わたしたちのまちを 見てみよう

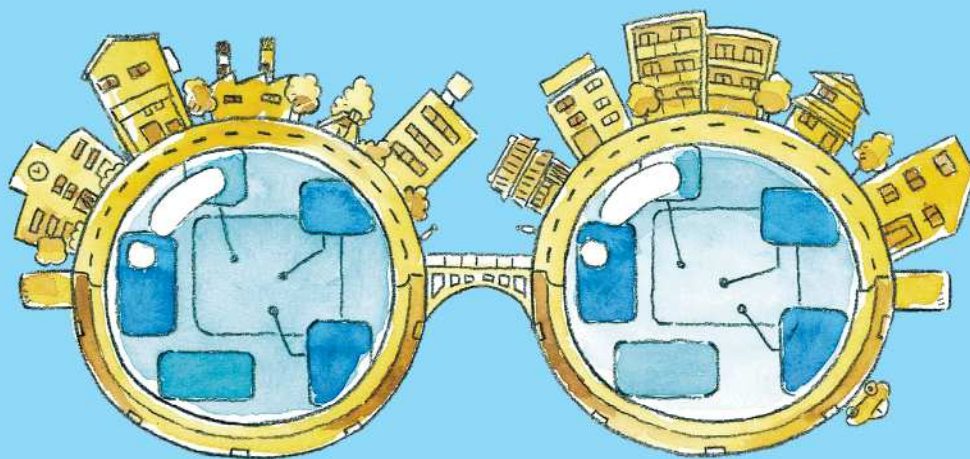
む としけいかくとくほん
子ども向け都市計画読本
2015



あまがさきし
尼崎市

毎日歩いている学校までの道路^{どうろ}沿^そいや、バスや電車から見える^{あまがさき}尼崎^なのまち並みは、どうやってできたのでしょうか。

いつも見ているまちには、みんなが暮らしやすいように「都市^{とし}計画^{けいかく}」といういくつかのルールが決められています。わたしたちのまちを「まちメガネ」でのぞいてみましょう。



ふしぎな道具^{どうぐ} 「まちメガネ」って

まちのルールを教えてくれるふしぎなメガネです。メガネをかけると、まちのルールを「解説^{かいせつ}」してくれます。

もくじ

わたしたちのまちの100年	3	「工場のあるまち」	15
「土地には色が付いている!？」	5	「まちのルール」	17
「暮らしを支える道路 ^{どうろ} 」	7	「昔 ^{むかし} ながらのまち」	19
「公園のひみつ」	9	「海 ^そ 沿いの工場あと」	21
「まちが変身 ^{へんしん} !」	11	「未来 ^{みらい} に向けて ^む 」	23
「商店街 ^{しょうてんがい} に行こう」	13		

わたしたちのまちの 100年

わたしたちのまちにはどんな歴史があるのでしょうか。
あまがさきし
尼崎市が生まれた100年前からふりかえてみましょう。

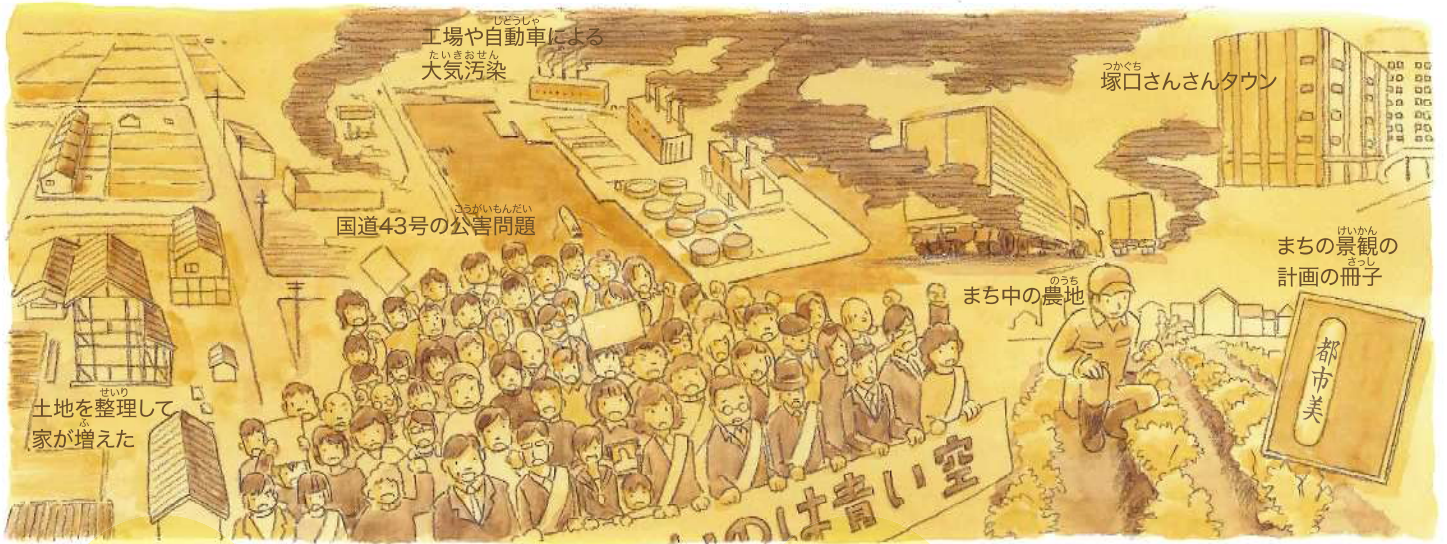


01

たいしやう
大正5年(1916年)に、のうそん農村やぎよそん漁村だった
あまがさきちやう
尼崎町とたちばなむら立花村の一部がいちぶいっしょになり、あまがさきし尼崎市
が生まれました。そのあと、おだむら小田村、おおしやうむら大庄村、
むごむら武庫村、たちばなむら立花村が、さらに昭和22年(1947
年)、そのだむら園田村が入り、ほぼ今の市の大きさに
りました。

02

あまがさき せんそう
尼崎は戦争で大きな被害をうけ、ひがいまちの多くを
つくりなおしてきました。また、工場がたくさん地
下水をくみ上げ、土地がひく低くなっていたため、大
きな台風により、今のとうかいどうほんせんJR東海道本線のところま
で、まちが水につかりました。そこで、しやうわ昭和31年
(1956年)に、そ海治いに大きなていぼう堤防をつくりました。



03

昭和30年代に入ると、あまがさき 尼崎のまちにたくさんの工場が集まり、それとともに、工場で働く人がたくさんうつり住んできました。これに合わせて、家や道路、公園、下水道なども、つぎつぎとつくられました。

04

昭和46年(1971年)は、あまがさき 尼崎に住む人がいちばん多かった年です(55万4千人)。しかし、このころ、工場の出すけむりや自動車の排気ガスなどにより、空気や川の水のよごれがひどくなり、その対策に取り組んできました。



05

平成7年(1995年)の阪神・淡路大震災により、たくさんの人、家や学校などの建物が大きな被害を受けました。そのため、みんなが力を合わせて、まちをつくり直し、安全なまちになるよう取り組んでいます。

06

こうして100年をかけて、道路や下水道などをつくり、家やビルが建てかわりながら、今のあまがさき 尼崎のまちができました。みんなの努力でまちは変わります。みんなが笑顔になれるまちにするにはどうすればいいか、みんなで考えていきましょう。

「土地には色が付いている!？」

ひこうき 飛行機からわたしたちが暮らしている^く尼崎^{あまがさき}を見ると、
いろんなことに気づきます。



しつもん

1

たてもの ほか
建物の他に何が見えますか？

しつもん

2

たてもの
どんな建物がありますか？

しつもん

3

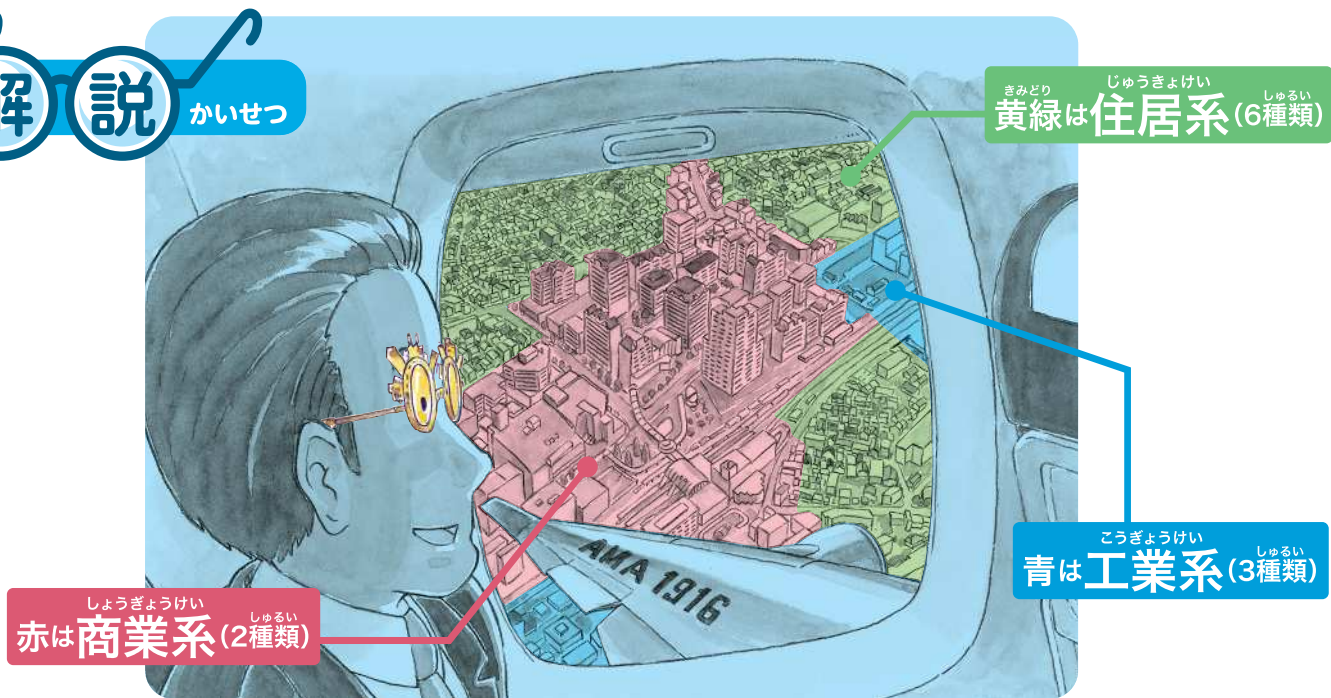
たてもの ようす
建物の様子はどうですか？

しつもん

4

えき どうろ
駅の近くや広い道路のそばはどうなっていますか？

解説 かいせつ



しょうぎょうけい しゅるい
赤は**商業系**(2種類)

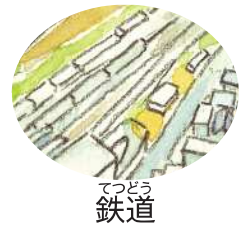
きみどり じゅうきょけい しゅるい
黄緑は**住居系**(6種類)

こうぎょうけい しゅるい
青は**工業系**(3種類)

しつもん 1 たてもの ほかに何が見えますか？

答え

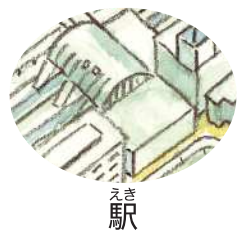
てつどう どうろ えきまえ
鉄道、道路、駅前の広場
などがあります。



しつもん 2 たてもの どのような建物がありますか？

答え

マンション、ビル、家、お店、駅など、まちにはいろんな種類の建物が建っています。
また、大きい、小さい、高い、低いなど建物の形もいろいろです。



しつもん 3 たてもの ようす 建物の様子はどうですか？

答え

たてもの 建物がすきまなく
た 建ち並んでいます。



しつもん 4 えき どうろ 駅の近くや広い道路のそばはどうなっていますか？

答え

広い道路ぞいや駅前の便利な場所には、大きなマンションや高いビルが集まっています。
実は、土地は都市計画で11色に色分けされていて、大きく分けると、赤、青、黄緑の3色に色分けできます。それぞれの色ごとに、建てられる建物が決まっています、たとえば、赤い場所(駅の近く)にはお店、青い場所には工場、黄緑の場所には家が建てられます。

このように、どこに、どんな建物を、どれくらいの大きさを建てられるかを土地の色ごとに決めたルールを「用途地域」といいます。このルールによって、まちで暮らす人、働く人、買い物する人それぞれが、便利で安全に過ごせるのです。

く ささ どうろ 「暮らしを支える道路」

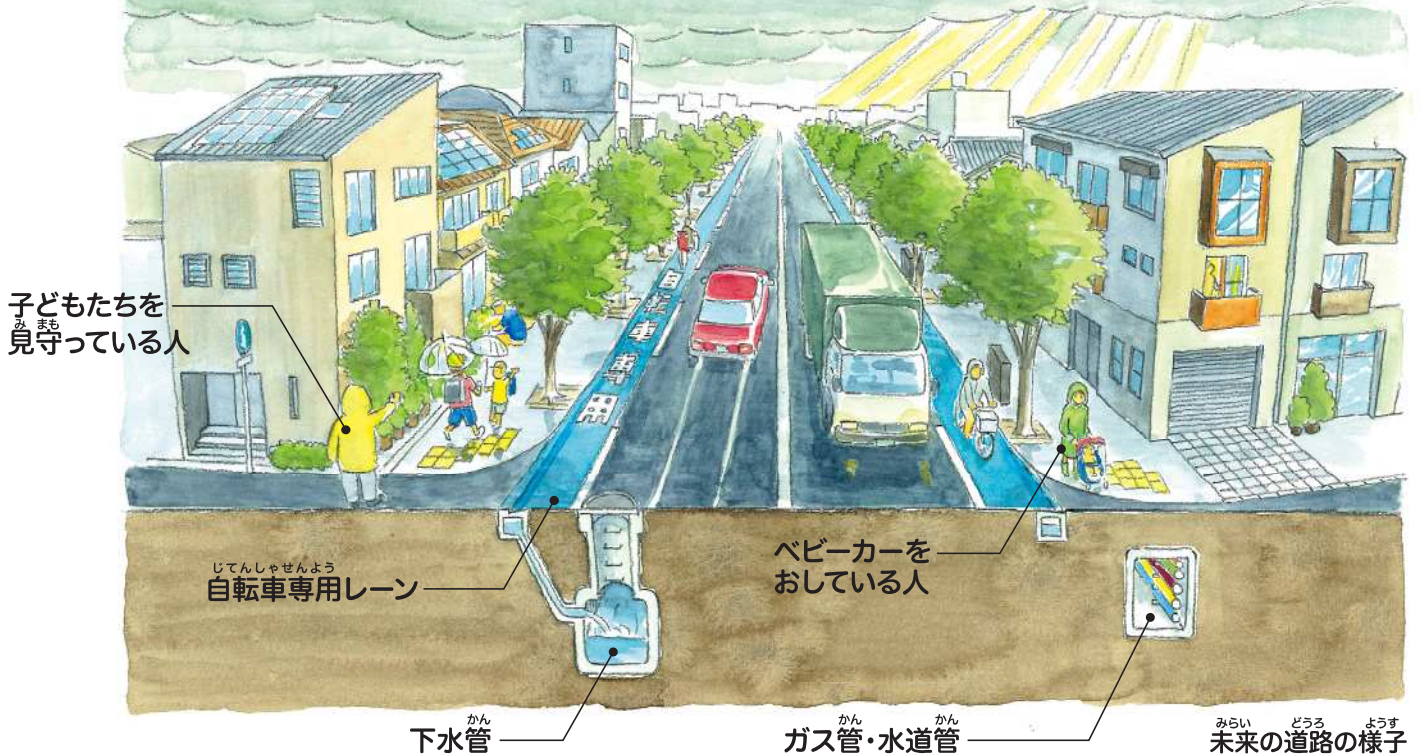
下の絵は、雨の日のまちの様子です。
道路のいろんな役割を考えてみましょう。



しつもん ① どうろ 道路には何が見えますか？

しつもん ② 絵の中で、危ないと思うところはどこですか？

しつもん ③ じめん ふ 地面に降った雨は、どこへ流れていくのでしょうか？



しもん 1 どうろ 道路には何が見えますか？

自動車、バス、トラック、自転車、電柱、木、マンホールなどがあります。

答え

また、歩いている人、子どもたちを見守っている人、ベビーカーをおしている人などがいます。

しもん 2 あぶ 絵の中で、危ないと思うところはどこですか？



どうろ 道路にとまっている トラック



うんてん 自転車 かささし 運転の自転車

答え

トラックが道路にとまっています。トラックがじゃまになってバスが通れません。バスがおくるとみんな困ってしまいます。また、自動車のかげで、歩いている人や自転車が見えなくて危ない場合があります。かささしながら自転車にのるのは「法律違反」です。片手での運転はふらふらしてあぶないです。自転車とベビーカーもぶつかりそう。自転車で歩道を走ると歩いている人とぶつかり、危険です。最近では自転車専用のレーンがある道も増えています。

しもん 3 じめん 地面に降った雨は、どこへ流れていくのでしょうか？

答え

地面の下に流れていきます。雨は道路の下にうめっている下水管に流れ、下水処理場へ運ばれ、きれいにして川や海に流しています。また、下水管の他にも、道路の下には、ガス管、水道管といったわたしたちの暮らしに欠かせないものが通っています。

「公園のひみつ」

公園にはたくさんの方がいます。

いつも遊んでいる公園について考えてみましょう。



しつもん 1 ^{あまがさき} 尼崎には公園が何カ所^{しょ}あるでしょうか？

- A : やく100カ所^{しょ}
- B : やく200カ所^{しょ}
- C : 300カ所^{しょいじょう}以上

しつもん 2 ^{つか} どんな人が公園を使っていますか？

しつもん 3 絵の中の人たちはどんなことをしていますか？
また、公園にはどんな役割^{やくわり}がありますか？

解説 かいせつ



けんこう 健康づくりの場



しつもん 1 あまがさき 尼崎には公園が何カ所しよあるでしょうか？

- A : やく100カ所しよ
- B : やく200カ所しよ
- C : 300カ所以上しよいじょう

きんじよ 近所の人とのふれあい場

答え

C : 300カ所以上もあるんです。
山がないあまがさき尼崎ですが、343カ所しよ (平成27年1月げんざい)のもの公園がつくられ、まちの中なかでも緑を感じることが出来ます。

しつもん 2 つか どんな人が公園を使っていますか？

答え

お年より、子ども、男の人、女の人、赤ちゃん、家族づれなど、いろんな人が使っています。



しつもん 3

絵の中の人たちはどんなことをしていますか？
また、公園にはどんな役割やくわりがありますか？

答え

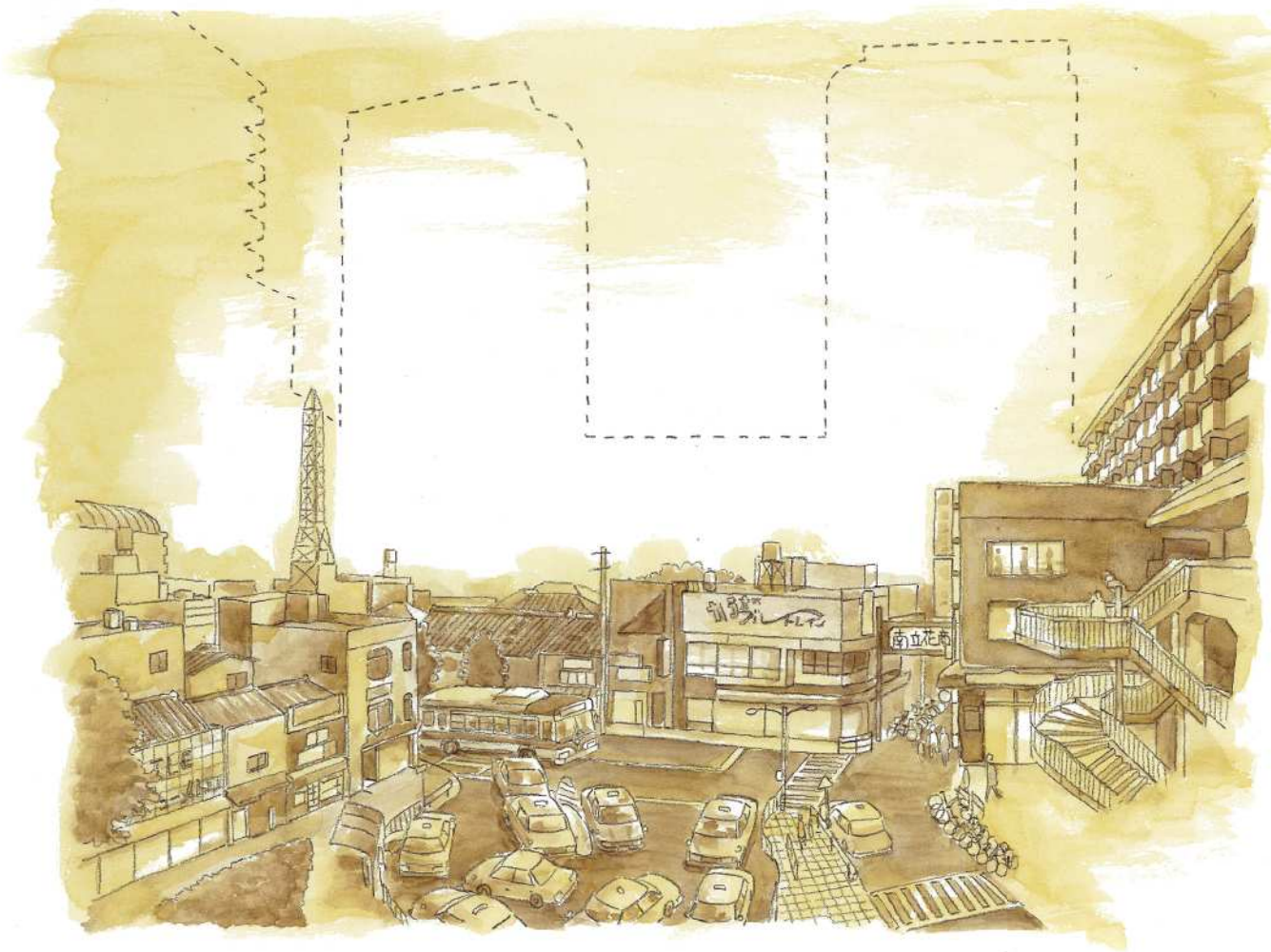
ランニングやラジオ体操、ブランコ遊び、ピクニック、花植え、そうじなどを行っています。

公園はわたしたちの遊び場となるだけでなく、近所の人とのふれあいの場になったり、地震や火事のときにひなでかじきる場所になったりします。また、木や花を植えて生き物のすみかをついたり、まちの中なかでも自然を身近しぜんに感じることが出来ます。このように、多くの大切な役割やくわりがあります。



へんしん 「まちが変身！」

たちばなえき 南がわの昔のようすです。
むかし

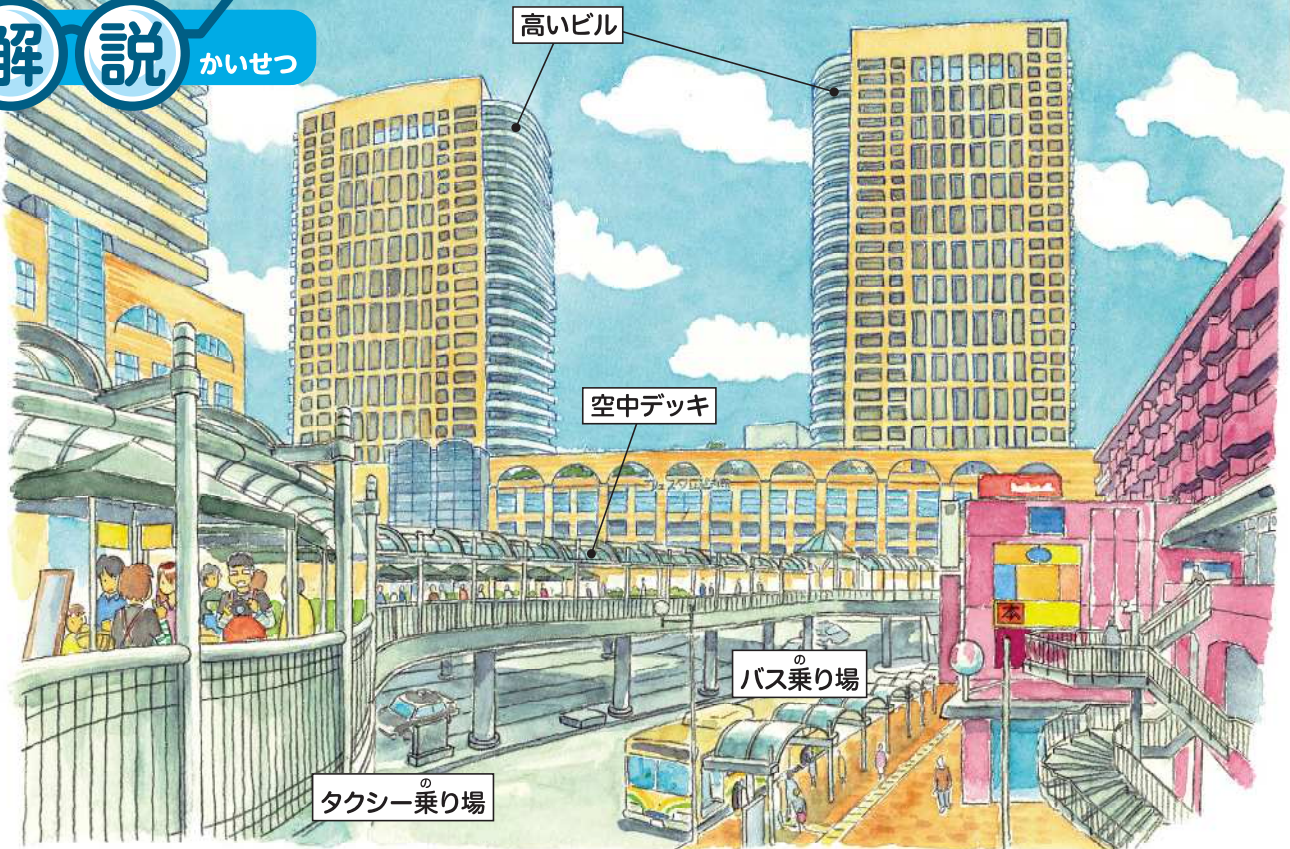


むかし
いつもん ① 昔はどんなまちに見えますか？

いつもん ② 今はどんなまちになっているでしょうか？

いつもん ③ なぜこの場所は大きく変身したのでしょうか？
ぼしょ へんしん

解説 かいせつ



今のJR立花駅の南がわの様子

しつもん 1 昔はどんなまちに見えますか？

答え 駅前えきまえは便利べんりなので、小さな店みせや家いへがせまい場所ばしょにたくさん
 らんでいました。
 自動車じどうしゃが増ふえ、道路どうろや駅前えきまえの広場ひろば(ロータリー)がせまくなり、
 また、火事かじになったときには燃え広ひろがる心配しんぱいもありました。

しつもん 2 今はどんなまちになっているでしょうか？

答え 高いビルたかいビル、駅えきとビルをつなぐ通路つうろ(空中デッキ)、バスやタクシー
 の乗り場のりば、駅前えきまえの広場ひろばなどがあります。いろんな大きな建物たてものができて、
 安心あんしんして使えるつかようになっています。

しつもん 3 なぜこの場所は大きく変身したのでしょうか？

答え 駅前えきまえは便利べんりで人気にんぎがあるので、住すみたい人ひとや店みせをしたい人ひとも多く、人
 や自動車じどうしゃだけではなく、建物たてものもたくさん集あつまります。だから、たくさんの人ひとが
 使って、地震かじや火事かじからまちを守るまもる必要ひつようがあります。
 また、今は昔むかしと比べて自動車じどうしゃの数かずも増ふえたので、昔むかしのせまい道路どうろのまま
 では、すぐすぐにじゅうたいしてしまいます。
 そこで、駅前えきまえに広い道路どうろ(広場)をつくれれば、駅前えきまえの道路どうろのじゅうたいを
 防ふせぎ、人ひとを運はこぶ大きなバスも駅前えきまえまで安全あんぜんに行くことができます。
 このように、まちが大きく変身へんしんしました。